

「対話と実行」の取組

地域の実情や課題を把握し、地域の声を県政に反映させるため、知事が産業や福祉等の様々な分野で活躍されている方々と地域の活性化等に向けて意見交換を行う「対話と実行座談会（平成20年度～）」や、市町村ごとに1日かけて地域を訪問する「対話と実行行脚（平成24年度～）」を実施する。

24年度からスタート!

「対話と実行行脚」



** 趣旨・目的 **

「対話と実行」の取り組みを一層推進するため、知事が市町村ごとに1日かけて地域を訪問する「対話と実行行脚」を実施する。
地域の方々との率直な対話を通じて、地域の強みや実情を聞かせていただき県政に反映させる。

** 開催実績及び予定 **

〈H24年度〉	12市町村	東洋町、北川村、安芸市、 高知市、香南市、本山町、仁淀川町、 四万十市、黒潮町、大月町
〈H25年度〉	12市町村	
〈H26年度〉	10市町村	



第一次産業を担う若者たちのリアルな思いや熱意を受け取る。

** 実施方法 **

- ・全市町村を訪問（平成24～26年度の3年間で県内を一巡）
- ・市町村ごとに1日かけて訪問
- ・7～8ヶ所程度の現場視察と意見交換会の実施



現地で避難訓練に参加。保育園の高台移転計画につながった。

** 実施内容 **

(1) 地域の方々との対話

地域の実情や取り組み状況を把握するため、市町村長の推薦を受けて、次のような取り組み現場を訪問し、地域の方々との対話を行う。

- ①地域アクションプラン
- ②地域おこし活動
- ③あったかふれあいセンターなどの福祉活動
- ④中山間地域の集落
- ⑤防災活動、災害時危険地域
- ⑥インフラ整備の課題地域 など

(2) 意見交換会の設定

市町村長や地域からの希望がある場合は、地域の集会所等で意見交換会を実施する。



中山間地域住民との対話。集落活動の現状や課題を知る。